



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨロズ
コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 和己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員財務部長 (氏名) 佐草 彰

TEL 045(543)6802

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	31,689	14.6	1,205	△38.6	1,478	△8.1	497	△9.0
25年3月期第1四半期	27,656	12.8	1,963	△11.3	1,608	△26.3	546	△50.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 5,460百万円 (108.3%) 25年3月期第1四半期 2,621百万円 (12.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	24.71	24.53
25年3月期第1四半期	27.17	27.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	118,128	67,079	47.6
25年3月期	111,170	61,883	46.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 56,284百万円 25年3月期 51,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		10.00	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,000	15.8	2,700	△30.8	3,200	△8.0	1,500	△2.7	74.42
通期	133,000	20.3	7,150	0.6	7,500	△10.8	3,900	△26.4	193.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	21,455,636 株	25年3月期	21,455,636 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,299,991 株	25年3月期	1,318,475 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	20,141,119 株	25年3月期1Q	20,128,819 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおりアナリスト向け工場見学会を開催する予定です。この工場見学会で配布した資料、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成25年8月23日(金).....機関投資家・アナリスト向け工場見学会
開催場所(株)ヨロス栃木

・上記工場見学会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復傾向にあるものの、欧州債務危機の長期化、中国やインドなどの新興国経済の成長鈍化などにより、依然として不透明な状況が続きました。

一方、日本におきましては、新政権による経済政策への期待感や日銀の金融政策による円高是正・株価上昇を背景に、消費マインドや設備投資意欲が改善するなど、明るい兆しが見えてきました。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、北米では販売が順調に拡大する一方、欧州では依然として不透明な状況であります。また、中国では自動車市場は引き続き拡大しており、不買運動で一時落ち込んでいた日系メーカーの販売も戻りつつあります。アセアンでは引き続き生産・販売とも堅調に推移しております。国内市場は、軽自動車の販売は好調に推移しておりますが、エコカー補助金効果の反動により全体では減少傾向にあります。

このような状況下におきまして、当社グループの売上高は、円高是正による増加効果もあり前年同期比14.6%増の31,689百万円となりました。

利益面では、「最大の効率と徹底したミニマムコスト」をポリシーとし、全社を挙げて原価低減活動を継続しておりますが、前期に引き続き新拠点の操業開始コストや既存拠点の新車立上げ費用の発生、労務費増加等の要因により、営業利益は前年同期比38.6%減の1,205百万円、経常利益は前年同期比8.1%減の1,478百万円、四半期純利益は前年同期比9.0%減の497百万円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

①日本

主要得意先であります日産自動車向け売上及び金型・設備売上の減少により、売上高は前年同期比27.0%減の10,045百万円となりましたが、ロイヤルティ収入の増加等により、セグメント利益は前年同期比5.2%増の1,091百万円となりました。

②米州

米国での売上増加の他、円高是正による増加効果により、売上高は前年同期比39.5%増の12,412百万円となりましたが、米国での利益水準の低迷に加え、メキシコ及びブラジルの新拠点立上げ費用の発生等により、セグメント利益は前年同期比75.2%減の110百万円にとどまりました。

③アジア

タイでの売上増加の他、円高是正による増加効果により、売上高は前年同期比33.0%増の11,725百万円となりましたが、タイでの中国からの生産補完に伴う物流費や新拠点立上げ費用の発生、中国での新車立上げ費用の発生などにより、セグメント利益は前年同期比76.3%減の163百万円にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ986百万円増加の59,627百万円となりました。これは、「現金及び預金」が2,717百万円減少、「受取手形及び売掛金」が3,304百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ5,970百万円増加の58,501百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「機械装置及び運搬具」が2,733百万円増加、「建設仮勘定」が2,077百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ6,957百万円増加の118,128百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて2,059百万円増加の26,650百万円となりました。これは、「支払手形及び買掛金」が1,457百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ297百万円減少の24,398百万円となりました。これは、「長期借入金」が445百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ1,761百万円増加の51,049百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ5,195百万円増加の67,079百万円となりました。これは、「利益剰余金」が296百万円増加、「その他の包括利益累計額」のうち「為替換算調整勘定」が3,751百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年5月9日の決算発表時に公表いたしました平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の第2四半期業績予想および通期業績予想を下表の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成26年3月期 連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

① 第2四半期連結累計期間業績予想の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年5月9日発表)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
	64,000	2,200	1,400	250	12.41
今回修正予想(B)	66,000	2,700	3,200	1,500	74.42
増減額(B-A)	2,000	500	1,800	1,250	—
増減率(%)	3.1	22.7	128.6	500.0	—
前第2四半期実績(平成24年9月期)	56,987	3,903	3,476	1,542	76.61

② 通期連結業績予想の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年5月9日発表)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
	132,000	6,000	4,900	2,000	99.32
今回修正予想(B)	133,000	7,150	7,500	3,900	193.49
増減額(B-A)	1,000	1,150	2,600	1,900	—
増減率(%)	0.8	19.2	53.1	95.0	—
前期実績(平成25年3月期)	110,550	7,107	8,403	5,301	263.28

2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間及び通期業績予想は、合理化計画の積み増しによる営業利益の増加に加え、円高是正に伴う為替差益の発生見込みや新拠点開業費用の一部縮小による営業外損益の改善等に伴い、経常利益及び当期純利益が前回発表予想を大幅に上回る見込みであります。

なお、通期連結業績予想は、次の為替レートを前提としております。

1USドル=90.00円、1メキシコペソ=7.50円、1ブラジルリアル=45.00円、
1タイバーツ=3.20円、1中国元=15.00円、1インドルピー=1.75円、
千インドネシアルピア=9.50円

*上記の予想は、本資料の発表時における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,193	22,476
受取手形及び売掛金	17,213	20,517
製品	4,268	3,656
原材料及び貯蔵品	348	401
部分品	1,849	2,104
仕掛品	3,316	3,783
その他	6,464	6,704
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	58,640	59,627
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	20,285	23,019
建設仮勘定	10,315	12,393
その他（純額）	12,838	13,604
有形固定資産合計	43,439	49,017
無形固定資産	735	774
投資その他の資産	8,355	8,709
固定資産合計	52,530	58,501
資産合計	111,170	118,128
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,497	12,955
電子記録債務	1,216	2,070
1年内返済予定の長期借入金	2,114	2,332
未払法人税等	1,524	1,054
賞与引当金	906	1,397
役員賞与引当金	72	91
その他	7,257	6,749
流動負債合計	24,590	26,650
固定負債		
長期借入金	21,809	21,364
退職給付引当金	1,282	1,324
その他	1,604	1,709
固定負債合計	24,696	24,398
負債合計	49,287	51,049

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,472	3,472
資本剰余金	7,000	7,004
利益剰余金	52,147	52,443
自己株式	△1,150	△1,134
株主資本合計	61,469	61,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,607	1,923
為替換算調整勘定	△10,720	△6,969
在外子会社の年金債務調整額	△436	△455
その他の包括利益累計額合計	△9,549	△5,500
新株予約権	169	148
少数株主持分	9,794	10,645
純資産合計	61,883	67,079
負債純資産合計	111,170	118,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	27,656	31,689
売上原価	23,546	28,017
売上総利益	4,109	3,672
販売費及び一般管理費	2,146	2,467
営業利益	1,963	1,205
営業外収益		
受取利息	36	32
受取配当金	48	54
為替差益	—	235
その他	22	29
営業外収益合計	108	352
営業外費用		
支払利息	34	37
為替差損	413	—
子会社開業準備費用	—	40
その他	15	2
営業外費用合計	463	79
経常利益	1,608	1,478
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産廃棄損	0	44
投資有価証券評価損	251	—
その他	3	5
特別損失合計	255	49
税金等調整前四半期純利益	1,353	1,430
法人税等	541	851
少数株主損益調整前四半期純利益	811	578
少数株主利益	265	80
四半期純利益	546	497

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	811	578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△301	316
為替換算調整勘定	2,100	4,587
在外子会社の年金債務調整額	11	△22
その他の包括利益合計	1,809	4,881
四半期包括利益	2,621	5,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,883	4,546
少数株主に係る四半期包括利益	738	914

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	10,043	8,812	8,800	27,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,717	85	19	3,822
計	13,761	8,898	8,819	31,478
セグメント利益	1,037	443	691	2,172

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,172
セグメント間取引調整額	△209
四半期連結損益計算書の営業利益	1,963

II. 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	7,631	12,348	11,709	31,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,414	64	15	2,494
計	10,045	12,412	11,725	34,184
セグメント利益	1,091	110	163	1,365

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,365
セグメント間取引調整額	△159
四半期連結損益計算書の営業利益	1,205